

総括

■ 機能種別

副機能種別「リハビリテーション病院」を適用して審査を実施した。

■ 認定の種別

書面審査および6月17日に実施した訪問審査の結果、以下のとおりとなりました。

機能種別 リハビリテーション病院（副）認定

■ 改善要望事項

- ・機能種別 リハビリテーション病院（副）
該当する項目はありません。

1. 病院の特色

貴院は一般急性期病棟、地域包括ケア病棟、回復期リハビリテーション病棟、医療療養型病棟を擁するスーパーケアミックス型の病院であり、地域密着型の医療を提供し、多様なニーズに対応して、地域に大きく貢献している。リハビリテーション分野では、療法士数約100名が在籍し、広島中央医療圏内で有数のリハビリテーション施設として機能しており、広島県地域リハビリテーション広域支援センター病院にも指定されている。このたび初めて、副機能「リハビリテーション病院」を受審された。この受審を十分に活用され、さらなるリハビリテーション機能の質の向上に向けて取り組まれ、地域になくてはならない病院として益々発展されることを期待したい。

2. チーム医療による診療・ケアの実践

回復期リハビリテーション病棟は49床で、主治医は複数医師で分担している。患者は院外病院からの転院が約6割で、その他は院内転棟である。病棟への入院判定基準を明文化するとよい。入院診療計画書やリハビリテーション総合実施計画書にて、合併症や多職種協働での患者支援計画に関する記載の充実が望まれる。患者の生活機能改善に向けて多職種で支援しているが、病棟での余暇活動や日中の更衣を積極的に進められるとよい。症状別看護手順と症状変化の観察記録が充実するとよい。病棟での薬剤管理は薬剤師も関与し適切である。入院で個別療法は365日間提供している。リハビリテーション処方時のリスク管理の記載の徹底が望まれる。理学療法士による装具療法充実を目指した装具検討会の取り組みは、装具療法の精度を高めるだけでなく、理学療法士の教育の場としても秀でており、高く評価した

い。栄養管理は管理栄養士を中心に多職種協働で適切に行っている。侵襲的検査時の患者バイタル記録が充実するとよい。やむを得ず身体拘束を実施する際の医師の関与が充実するとよい。社会福祉士を中心に相談業務は適切である。退院支援は生活期支援者とも適切に連携して行っている。外来リハビリテーションはリスク管理に留意して適切に行っている。

機能種別：リハビリテーション病院（副）

2 良質な医療の実践 1

評価判定結果

2.2	チーム医療による診療・ケアの実践	
2.2.1	来院した患者が円滑に診察を受けることができる	A
2.2.2	外来診療を適切に行っている	A
2.2.3	診断的検査を確実・安全に実施している	B
2.2.4	入院の決定を適切に行っている	A
2.2.5	診断・評価を適切に行い、診療計画を作成している	B
2.2.6	リハビリテーションプログラムを適切に作成している	A
2.2.7	患者・家族からの医療相談に適切に対応している	A
2.2.8	患者が円滑に入院できる	A
2.2.9	医師は病棟業務を適切に行っている	B
2.2.10	看護・介護職は病棟業務を適切に行っている	A
2.2.11	投薬・注射を確実・安全に実施している	A
2.2.12	輸血・血液製剤投与を確実・安全に実施している	NA
2.2.13	周術期の対応を適切に行っている	NA
2.2.14	褥瘡の予防・治療を適切に行っている	A
2.2.15	栄養管理と食事支援を適切に行っている	A
2.2.16	症状などの緩和を適切に行っている	A
2.2.17	理学療法を確実・安全に実施している	S
2.2.18	作業療法を確実・安全に実施している	A
2.2.19	言語聴覚療法を確実・安全に実施している	A
2.2.20	生活機能の向上を目指したケアをチームで実践している	A

2.2.21	身体拘束（身体抑制）の最小化を適切に行っている	A
2.2.22	患者・家族への退院支援を適切に行っている	A
2.2.23	必要な患者に継続した診療・ケアを実施している	A

年間データ取得期間： 2023年 4月 1日 ~ 2024年 3月 31日
 時点データ取得日： 2025年 2月 1日

I 病院の基本的概要

I-1 病院施設

- I-1-1 病院名 : 社会医療法人千秋会 井野口病院
- I-1-2 機能種別 : リハビリテーション病院(副機能)
- I-1-3 開設者 : 医療法人
- I-1-4 所在地 : 広島県東広島市西条土与丸6-1-91

I-1-5 病床数

	許可病床数	稼働病床数	増減数(3年前から)	病床利用率(%)	平均在院日数(日)
一般病床	146	146	+0	81.2	19.4
療養病床	42	42	+0	80.3	154.8
医療保険適用	42	42	+0	80.3	154.8
介護保険適用					
精神病床					
結核病床					
感染症病床					
総数	188	188	+0		

I-1-6 特殊病床・診療設備

	稼働病床数	3年前からの増減数
救急専用病床		
集中治療管理室 (ICU)		
冠状動脈疾患集中治療管理室 (CCU)		
ハイケアユニット (HCU)		
脳卒中ケアユニット (SCU)		
新生児集中治療管理室 (NICU)		
周産期集中治療管理室 (MFICU)		
放射線病室		
無菌病室		
人工透析		
小児入院医療管理料病床		
回復期リハビリテーション病床	49	+0
地域包括ケア病床	48	+0
特殊疾患入院医療管理料病床		
障害者施設等入院基本料算定病床		
緩和ケア病床		
精神科隔離室		
精神科救急入院病床		
精神科急性期治療病床		
精神療養病床		
認知症治療病床		

I-1-7 病院の役割・機能等 :

DPC対象病院 (DPC標準病院群), 在宅療養支援病院

I-1-8 臨床研修

I-1-8-1 臨床研修病院の区分

- 医科 1) 基幹型 2) 協力型 3) 協力施設 4) 非該当
- 歯科 1) 単独型 2) 管理型 3) 協力型 4) 連携型 5) 研修協力施設
- 非該当

I-1-8-2 研修医の状況

研修医有無 1) いる 医科 1年目 : 人 2年目 : 人 歯科 : 人
 2) いない

I-1-9 コンピュータシステムの利用状況

- 電子カルテ 1) あり 2) なし 院内LAN 1) あり 2) なし
- オーダーリングシステム 1) あり 2) なし PACS 1) あり 2) なし

リハビリテーション病院

主な疾患等に関する日常生活自立度の改善状況

※回復期リハビリテーション病棟の全入院患者数が対象

FIM（運動）

	実施前	退院・転床時	変化値
心大血管疾患に関するもの			
脳血管障害に関するもの	43.6	67	23.4
廃用症候群に関するもの			
運動器疾患に関するもの	36.5	64.6	28.1
呼吸器疾患に関するもの			

FIM（認知）

	実施前	退院・転床時	変化値
心大血管疾患に関するもの			
脳血管障害に関するもの	18.4	24.3	5.9
廃用症候群に関するもの			
運動器疾患に関するもの	23.8	25.9	2.1
呼吸器疾患に関するもの			

B. I

	実施前	退院・転床時	変化値
心大血管疾患に関するもの			
脳血管障害に関するもの	0	0	0
廃用症候群に関するもの			
運動器疾患に関するもの			
呼吸器疾患に関するもの			

日常生活機能評価点数

	実施前	退院・転床時	変化値
心大血管疾患に関するもの			
脳血管障害に関するもの	7.4	3	-4.4
廃用症候群に関するもの			
運動器疾患に関するもの	8.5	2.9	-5.6
呼吸器疾患に関するもの			

在宅復帰率 (部門別調査票 (23)回復期リハビリテーション病棟部門 より)	81.67	%
分子：退院先が「居宅」の患者数	196	人
分母：退院患者数	240	人